

平成 17 年 9 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 村田 紀敏
(コード番号 3382 東証第一部)

株式会社セブン&アイ・ホールディングスの設立について

株式会社セブン-イレブン・ジャパン(以下「セブン-イレブン」)、株式会社イトーヨーカ堂(以下「イトーヨーカ堂」)、株式会社デニーズジャパン(以下「デニーズ」)は、本日、株式移転の方式により、3社の持株会社である株式会社セブン&アイ・ホールディングス(以下「セブン&アイ HLDGS.」)を設立いたしました。

各社は今まで「変化への対応と基本の徹底」をスローガンとして、お客様の立場に立った商品・サービスの提供に努め、企業価値の向上を図ってまいりました。しかしながら、急速に変化し続ける社会の変化に迅速に対応し、事業ポートフォリオの最適化による企業価値の最大化を図るためには、持株会社の設立が不可欠と判断いたしました。

今後、セブン&アイ HLDGS.は、ガバナンスの強化とグループシナジーの追求に努めるとともに、グループを代表する上場会社としてステークホルダーに対する説明責任を果たしてまいります。また、セブン&アイ HLDGS.の一貫した事業推進体制の下、各事業会社は与えられた事業範囲における責任を全うするとともに、各々の自立性を発揮しながら、利益の成長及び資本効率の向上を追求してまいります。

セブン&アイ HLDGS.の概要および経営目標は以下の通りです。

1. 企業理念

(社是)

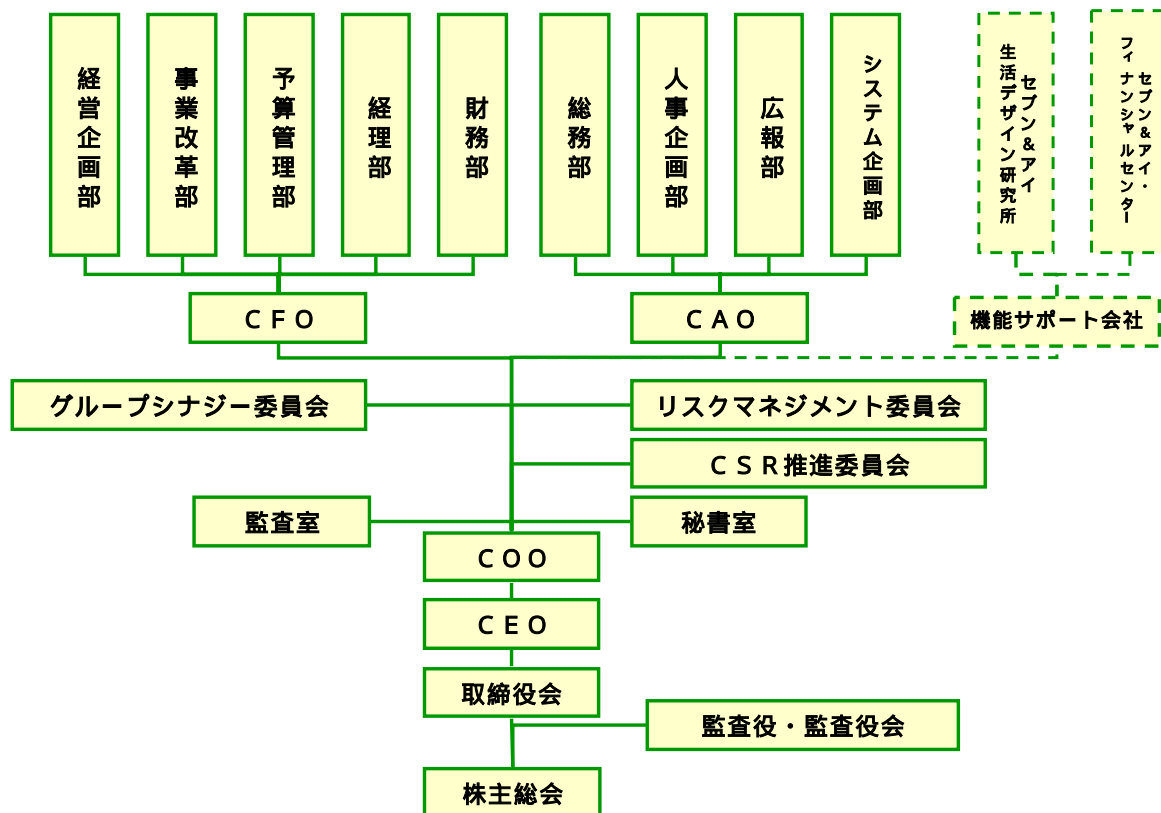
- ・私たちは、株主に信頼される、誠実な企業でありたい。
- ・私たちは、お客様、取引先、地域社会に信頼される、誠実な企業でありたい。
- ・私たちは、社員に信頼される、誠実な企業でありたい。

(使命)

迅速な意思決定による事業ポートフォリオの最適化を推進し、グループ企業価値の最大化を図るとともに、グローバルな「新・総合生活産業」を目指す。

2. 組織図

セブン&アイ HLDGS.の組織図は以下の通りです。



3. 平成 18 年 2 月期業績予想

(1) 連結業績予想 (平成 17 年 3 月 1 日 ~ 平成 18 年 2 月 28 日) (単位: 百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 18 年 2 月期	3,700,000	233,000	230,000	114,700

(2) 単体業績予想 (平成 17 年 9 月 1 日 ~ 平成 18 年 2 月 28 日) (単位: 百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 18 年 2 月期	34,800	33,400	33,400	33,500

4. 経営目標

	平成 21 年 2 月期目標
連結営業利益 (シナジー効果含まず)	3,100 億円
シナジー効果	300 億円
シナジー効果を加えた連結営業利益	3,400 億円
ROE	10%

5. 利益還元政策

セブン&アイ HLDGS.は、利益向上に見合った利益還元に努めてまいります。また、今後の配当金額につきましては年間50円をベースとし、目標連結配当性向35%を維持しつつ更なる向上を目指してまいります。

6. 平成18年2月期配当予想

(1) 株式移転交付金

セブン&アイ HLDGS.は、平成17年8月31日現在のセブン-イレブン、イトーヨーカ堂およびデニースの株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された各株主(実質株主を含む)に対して、その所有するセブン-イレブンの株式1株につき金21円50銭、イトーヨーカ堂の株式1株につき金16円、デニースの株式1株につき金15円50銭の株式移転交付金を、平成18年2月期の各社の中間配当に代えて支払う予定です。

(2) 期末配当金

平成18年2月期のセブン&アイ HLDGS.の1株当たり期末配当は28円50銭(うち普通配当21円50銭、記念配当7円)を予定しております。

<ご参考：セブン-イレブン、イトーヨーカ堂、デニース株式1株当たりの実質的な配当金額>

	中 間	期 末			各社1株当たりの 実質的な年間 配当金額
	株式移転 交付金	セブン&アイ HLDGS.の 1株当たり 配当金額	株式移転 比率	各社の1株 当たり 配当金額	
セブン-イレブン	21.50円	28.50円	1.0	28.50円	50.00円
イトーヨーカ堂	16.00円		1.2	34.20円	50.20円
デニース	15.50円		0.65	18.525円	34.025円

以 上